

幼少期からのアトピーとカポジ水痘様発疹症を経て通常生活へ戻った成人アトピーの経過 (32 歳 成人)

症例 ID：001-30-KM7 | 記録日：2015 年 5 月 17 日

1. 診断・治療前経過

幼少期からアトピーがあり、中学・高校期に運動をやめてから上半身と顔を中心に症状が強くなりました。
社会人 1 年目に住環境の変化とともに悪化し、瞼の腫れと全身症状のため約 2 か月休職しました。約 2 年後には顔から上半身にカポジ水痘様発疹症を伴う強い症状がみられました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	近医で注射を受けた経過があり、後の受診時にステロイド使用の可能性を指摘されました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	不明です。
来院前／後	来院前の使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～高校期	来院前	上半身から顔に症状が出るようになりました。
社会人 1 年目	強い悪化	瞼の腫れと全身症状により約 2 か月休職しました。
約 2 年後	再燃	顔から上半身にただれが広がり、カポジ水痘様発疹症を伴いました。
同時期	治療後	約 1 週間で仕事へ復帰しました。
社会人 10 年頃	再度悪化	顔から浸出液が出て治療を再開しました。
再開約 1 か月半	経過中	浸出液と震えが治まり、通常の生活を続けられるようになりました。

4. ピーク時期

ピークは、社会人 1 年目に全身症状で 2 か月休職した時期と、約 2 年後に顔から上半身がただれた時期です。

5. 困りごと

- 瞼の腫れや全身症状により、就労の継続が難しい時期がありました。
- 顔から浸出液が出て、日常生活への負担がありました。
- 遠方から治療を続ける必要がありました。

6. 経過のまとめ

再度の悪化から約 1 か月半後には顔の浸出液と震えが治まり、全身の傷も少しずつ目立ちにくくなったことで通常の日常生活を送れるようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。